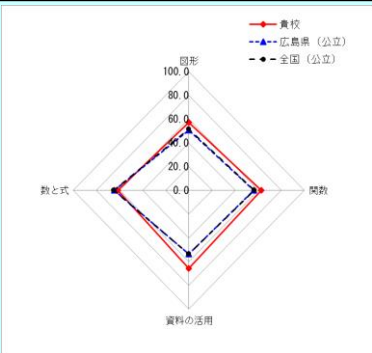


学力向上に向けた指導方法等の改善計画について

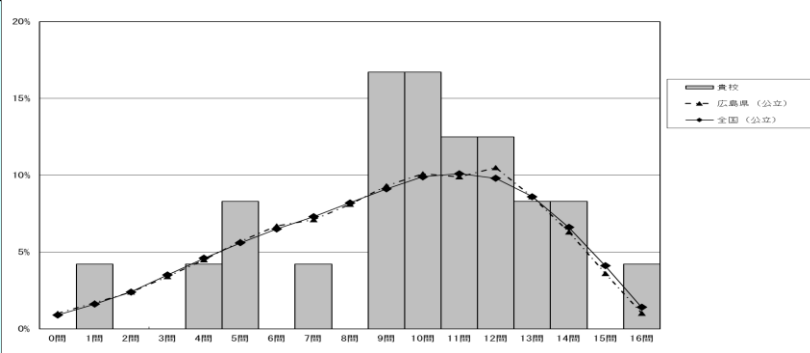
〔数学科〕

江田島市立大柿中学校

令和3年度全国学力・学習状況調査 本年度通過率（本校 %, 県 %）



領域別平均正答率



正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

本年度の結果について

○数学科の結果において、平均正答率は62%（県平均より+5ポイント）の通過率となっている。領域別にみると、数と式61.7%（-2.8ポイント）、図形57.3%（+6.4ポイント）、関数62.5%（+6.4%）、資料の活用65.6%（+12.1%）であり、数と式の学習内容の定着に課題がみられる。特に、文字式の計算が定着していない。

重点課題

- 【課題1】
○「相対度数の必要性和意味を理解しているか。【通過率 25%】
数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかを見る問題。
- 【課題2】
○「整式の加法と減法の計算ができるか。【通過率 70.8%】
1次式の加法・減法の計算において、知識・技能をみとる問題。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- 【課題1】見いだした事実を説明することに課題がある。今後の方向性として、ペア学習やグループ活動、話し合い活動を通して、数学的な事象から事柄の特徴を見つけ記述し、説明する活動を取り入れていく。家庭学習での定着も図り、確認テストや定期テストで定着度を見取った上で改善を図る。理解度の低い生徒には、個に応じた補充学習を行っていく。
- 【課題2】基本的な文字式の計算において、ケアレスミスが多かった点が課題である。授業の始めに小テストを行い、既習事項の確認や基本的な知識・技能の定着を図ることと、ケアレスミスをしないよう、正しく計算し解を求めることを繰り返し演習する。また、ペア学習を取り入れながら答え合わせや自分のつまづきに気づかせ、教えあい学習による定着を図る。家庭学習での定着も図り、確認テストや定期テストで定着度を見取った上で改善を図る。理解度の低い生徒には、個に応じた補充学習を行っていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			重点課題の類似問題をさせる。	期末試験	江田島市小中学校学力調査		学年末試験
目標値			60%	60%	60%		80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			重点課題の類似問題をさせる。	期末試験	江田島市小中学校学力調査		学年末試験
目標値			90%	60%	60%		80%
実施後数値							